

一問一答方式による



一般質問

世界同時不況下における
行財政改革



須藤 功

問 定額給付金事業に関連し、割増商品券などを発行し、地域消費の活性化に寄与するような施策はできないか。

市長 岩沼市としても、商工会等のご意見をお聞きしていますが、今の段階では発行するに至っていません。

問 法定外公共物は売却や貸し地などで収益を上げることができないか。

建設部長 国からの払い下げ申請に基づき、利用状況や将来計画の有無、地域や隣接地権者の利用状況を調査確認した上で、問題がない用地については用途廃止の手続きを行い、払い下げしています。3カ年で11件、金額で1,214万3千円を売却しています。

市民バスの見直しを

問 市民バスは収益性が上がるよう運行体系及び体制



(アイ)バス

の見直し、複雑な経路や利用したい時間帯にバスが走っていないような問題を解消すべきではないか。

市長 21年度で見直しの検討会を行いますので、できる限り意見が反映できるように、検討会の話題にさせていただきます。22年度からは少しでもいい方向の運行ができればと思います。

協働のまちづくり推進



大友 克寿

問 施政方針の中に、協働の仕組みづくりについて実施可能なものから取り組みたいとあるが、今年度から取り組むものは何か。

市長 協働のまちづくり推進会議の中間報告書をいた

だき、その中で実施可能と判断したものから取り組んでいきたいと考えます。

問 協働のまちづくり推進で、行政側はどう変わろうとしているのか。

市長 市民の皆さんとなお一層連携してお互い勉強し高め合いながら協働を進めていかなければならないと思います。

若い世代の参加必要

問 今年度から開催する予算説明会には、若い世代にも積極的に参加してもらう工夫が必要と考えるが。

市長 若い世代を含め、できるだけ多くの市民の皆さんに参加いただくために、開催日時についても参加しやすい工夫はしなければならぬと思います。

問 市民活動サポートセンター(仮称)の設置について、検討の状況と今後の見解を伺う。

市長 協働を進める上で、市民活動を支援する場というのには必要だと思えます。協働のまちづくり推進会議の中間報告書をいただいた上で、必要なことについて具体的に検討を進めてい

うと思えます。

緊急経済・雇用対策



佐藤 一郎

問 緊急雇用創出事業を活用した雇用確保をどのように考えるのか。

産業部長 平成21年度から23年度までの3カ年、各種事業を実施することになっています。21年度については、13の事業で25人採用する計画です。

前倒し発注とは

問 雇用のために、21年度事業を上半期に前倒しし、土木、上下水道工事などを発注すべきと考えるが。

市長 資金運用計画との整合性を図っていかなければなりません。その中で、できるだけ前倒しといえますか、早期発注を心掛けたいと思います。

問 無料職業紹介所の設置を再検討してはどうか。

市長 何度かご質問をいただき、岩沼市としてもいろ